

平成24年度 公益財団法人いのちの森文化財団 事業報告書

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

健康社会教育事業(講座・講演・フォーラムの開催)

健康的な社会生活を送る為の講座の開催。ガン専門病院名誉院長の帯津良一先生、気功の第一人者の中健次郎先生、高野山阿闍梨の宮島先生らによる心身の健康のための社会教育講座を開催した。

1. 養生塾 4回(5月18日～22日、8月24日～28日、11月2日～6日、
25年3月29日～4月2日)

講師 帯津良一先生(帯津三敬病院名誉院長)

講演・Q&A・食事の講座・心の持ち方・気功の実習など。

2. いのち学講座 4回(5月18日～22日、8月24日～28日、11月2日～6日、
25年3月29日～4月2日)

講師 帯津良一先生(帯津三敬病院名誉院長)

講演・講座

3. 気功合宿 1回(9月15日～17日)

講師 中健次郎先生(気功第一人者)

気功の実習・講演

4. 心の探求 2回(8月31日～9月2日 / 25年1月12日～14日)

講師 宮島基行先生(高野山真言宗阿闍梨・南山流声明第一人者)

人間の悩みの根元を追求しつづけている宮島師の心を解く講座

5. 日常断食講座

- 1回(10月6日～8日)

講師 宮島基行先生(高野山真言宗阿闍梨)

日常生活にも取り入れやすい短期間の断食を体験し、心身をリフレッシュする講座

6. 高齢者の生きがい創造基金

前期に引き続き、高齢者の生きがいを創造する生涯学習事業(「死を想い、より良い生を生きる・生と死の統合」事業)の計画を実現するために、基金を募集した。

文化事業(ワークショップ)

生体エネルギーと心の仕組み、日本文化の源流を訪ねるワークショップを開催

1. 日本文化講座-わび・さびの世界を味わう 茶道

4月 講師 山下宗洋先生(茶道裏千家準教授)

青少年育成事業(環境保全と里山文化・日本文化の継承、意識教育講座)

1. いのちの森青少年育成公開講座 (課外講師による公開学習会 概ね月1回開催)

多彩な講師陣による青少年育成講座。医療、音楽、建築、伝統文化、農業、経済、看護、など様々な分野の学びをとおして心の成長を図る講座を開催した。

<平成24年>

- 4月 山下宗洋 先生(茶道裏千家準教授) テーマ「お点前の心」
- 5月 松本賢治 先生(株)フラワーキッズ代表取締役) テーマ「自分に矢印」
- 6月 鈴木寛 先生 (ベッカライ麦星 パン職人) テーマ「環境保全とパン作り」
- 7月 井上 弘寿 先生 (精神科医) テーマ「心の病について」
- 8月 帯津良一 先生 (帯津三敬病院名誉院長) テーマ「食養生」
- 9月 中健次郎 先生 (気功家) テーマ「気功と人間の本質」
- 10月 帯津良一 先生 (帯津三敬病院名誉院長) テーマ「生と死の統合」
- 10月 山田研吾 先生 (公益財団法人自然農法国際研究開発センター)
テーマ「大自然の営みから学ぶ自然農法とその心のあり方1」
- 11月 久間祥多先生 (七沢リハビリテーション病院 脳血管センター脳神経外科)
テーマ「脳を知ろう」
- 11月 山田研吾 先生 (公益財団法人自然農法国際研究開発センター)
テーマ「大自然の営みから学ぶ自然農法とその心のあり方2」
- 12月 小林計正 先生 (元県職員) テーマ「新しい自分を探して」
- 12月 山田研吾 先生 (公益財団法人自然農法国際研究開発センター)
テーマ「自然農法の農業の実際」

<平成25年>

- 1月 ブレンダ・デーヴィス 先生(英国精神科医)
テーマ「アフリカ・ザンビアでの共同生活での学び」
- 3月 宮島基行 先生(高野山真言宗阿闍梨) テーマ「日常生活での意識の持ち方」
- 3月 早川明良 先生(株)ダイサン青果代表取締役) テーマ「日本の食の流通を支える青果市場」
- 3月 山田研吾 先生 (公益財団法人自然農法国際研究開発センター)
テーマ「環境にやさしい自然農法から学ぶ ～春編～」

2. 自然観察会と植樹 1回 (25年3月)

戸隠奥社散策 飯綱山清掃登山 講師 塩澤研一(いのちの森文化財団副代表理事)
信州の美しい自然観察をとおして環境問題を考える講座と実習・清掃活動も同時に行った。
また信州の歴史と文化を学ぶ講座を開催し、飯綱高原のサクラを植樹した。

3. コケ玉グリーンアートセラピー 随時開催

講師 塩澤みどり (意識教育カウンセラー・ケアリスナー・いのちの森文化財団代表理事)

信州に自生する実生の植物の採集と観察。コケの観察と採集の後、アートセラピーとしてのコケ玉教室を開催した。

4. リーダーシップセミナー 随時開催

講師 塩澤みどり（意識教育カウンセラー・ケアリスナー・いのちの森文化財団代表理事）
青少年育成講座の一環としてリーダーシップを養う教育カウンセラーによる実習セミナーを開催した。

5. 東日本大震災支援

東日本大震災支援のため指定寄付金を募り、被害が甚大だった東北 3 県（宮城県、福島県、岩手県）及び長野県栄村の教育委員会に23年度寄附し、青少年の教育事業の推進を支援した。24 年度は、東日本大震災を受けた福島第一原発の事故の被害を受けている福島県南相馬市の保育園（北町保育所・原町聖愛保育園）に飯綱高原の自然農法野菜（年間合計各22回ずつ、合計金額 352,300 円分、㈱水輪ナチュラルファームより 247,700 円分の野菜の寄付をしてもらい、総額 600,000 円分の自然農法野菜）を支援物資として毎週発送した。

6. 青少年育成基金

近年うつ、ひきこもり、不登校の青少年が増加しているが、経済的事情により社会復帰や自立のための教育を受けることが困難な方が増えてきている。自立・社会復帰を果たしたいという希望のある方々には、できる限り自立できる段階までの教育を受けられるように基金を募集した。集まった基金は、支援事業の費用に充当する。

自立支援・社会復帰支援事業

社会的に自立が出来ない青少年に対する支援活動を行った。

1. いのちの森で学ぶ親子相談・勉強会 1回(6月29日～7月1日)

講師 巽信夫先生（精神科医師、前信州大学医学部助教授）

塩澤みどり（意識教育カウンセラー・ケアリスナー・いのちの森文化財団代表理事）

精神科医と意識教育カウンセラーによる相談勉強会

2. 脳と心の勉強会

2回(6月16日～17日 / 11月10日～11日)

講師 久間祥多先生(脳神経外科医)

脳の仕組みと働きを学ぶことを通して自立へのモチベーションを上げる講座

3. 内観セミナー 随時

講師 塩澤研一(日本内観学会会員)

深く自分と他者との関係性を追求する内観療法を用いたワークショップ

3泊4日から7泊8日までのコースを設定

4. カウンセリング 随時

講師 塩澤みどり(意識教育カウンセラー・ケアリスナー・いのちの森文化財団代表理事)

5. 自然農園実習と援農ボランティアへの支援活動

自然農をとおしていのちの営みと繋がりを学ぶ実践講座

指導員 山下 薫(水輪ナチュラルファーム取締役)

指導員 柘津 尚(水輪ナチュラルファーム 農場長)

情報提供事業(環境問題を基軸に意識の変容を迫る啓蒙事業)

1. いのちの森通信の発行 年4回 4,500部 (A3版4p)を発行した。

執筆者 内藤正明(京都大学名誉教授)、馬場俊彦(名城大学名誉教授)、巽信夫(前信州大学医学部助教授)、遠藤美保子(福島県南相馬市 社会福祉法人ちいろば会 原町聖愛保育園 園長)、塩澤研一(当財団副代表理事) 他による環境に対する提言、心・脳の働きと人間の行動、などを通して「共生」への意識を高める啓蒙事業として、「いのちの森通信」を発行した。